



新型コロナウイルス関連情報

市内の患者発生状況
患者数(累計) 8478人 ※8月5日現在

「かながわBA.5対策強化宣言」を発出中

県は、8月2日に「かながわBA.5対策強化宣言」を発出しました。第7波の感染拡大により、市内においても診療を求める多くの人で、医療機関の窓口は大変込み合っています。この状態が今後も続けば、病床や医療従事者などの医療資源を、重症化リスクの高い人に重点化しなければなりません。引き続き次の基本的な感染症対策をお願いします。

- ◆適切なマスク着用を◆効果的に換気する◆密集、密接、密閉を避ける◆会食は少人数で短時間に◆マスク飲食を実践する◆若い人は3回目、高齢者や基礎疾患などがある人は4回目のワクチン接種の検討を※ワクチンは感染予防や重症化予防に効果があることが示されています

健康づくり課 ☎92-1117

自主療養届出制度の活用を

抗原検査キットなどのセルフテストで感染を確認した人は、県へ届け出ることで、医療機関を受診することなく自主的に療養できます。症状が悪化した場合は医療スタッフに相談できるほか、療養後の保険請求も可能です。万一来備え、抗原検査キットや食料品、解熱剤などの備蓄をしておきましょう。詳しくは県ホームページ、または右のQRコードからご確認ください。 県ホームページ



医療従事者なども4回目接種の対象になりました

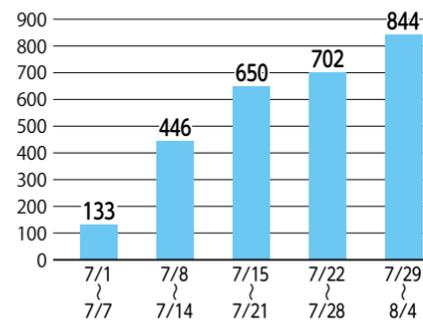
対象 3回目接種から5カ月以上経過した①60歳以上の人②18歳～59歳で基礎疾患を有する人、その他重症化リスクが高いと医師が認める人③医療従事者や高齢者施設などの従事者※①の人には一律で接種券を発送します。②③の人や他自治体で3回目接種を受けた後に伊勢原市に転入した人が接種を希望する場合は、接種券発行の申請が必要です。

詳しくは、コールセンター(☎0570-090-655、午前8時45分～午後5時)にお問い合わせいただくか、市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に伴うさまざまなお知らせ」をご覧ください◇右のQRコードからも申請できます

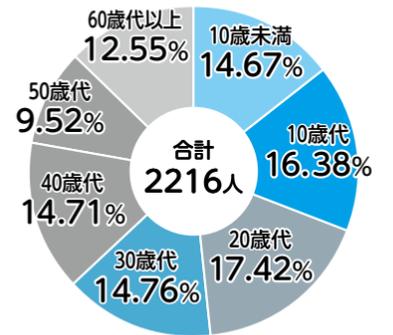


接種券申請フォーム

伊勢原市内における感染状況 感染者数(週別)の推移



年代別感染者数割合(R4.7月)



東部第二土地区画整理事業 新たな活力、支える人々

第6回 神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社 ☎0463-91-2811

会社情報 Company Profile

代表者 代表取締役社長 清水 亨
 本社所在地 横浜市鶴見区安善町2丁目1番地7
 設立 昭和35(1960)年
 業種 卸売業
 従業員数 332人◇令和4(2022)年4月時点



湘南支店 支店長
小林 慶司さん

充実した職場環境でトラックライフに貢献します

当社は、三菱ふそう社製のトラック・バスの販売や修理、中古車の販売や買い取り、純正部品などの販売をしているほか、保険代理店も行っています。平塚市にあった湘南支店は当社では最大の支店であり、県中西部をカバーしていましたが、令和3(2021)年5月に車でのアクセスがよい、この場所に移転しました。新しい湘南支店では、従来の倍近い面積を確保し、最新鋭の施設と設備を整え、お客さまはもとより、従業員にも満足してもらえる体制を整えています。

若手社員のとある一日 One Day Of A Young Staff



トラックなどの販売を行う営業担当として活躍している浅海さんに、一日のスケジュールを伺いました。

販売一課
浅海 拓実さん

DAILY SCHEDULE

- 8:50～ 朝礼、ラジオ体操
- 9:30～ 商談や営業などの販売活動
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～ 納品する車の準備(洗車や登録作業)
- 14:00～ 納車(車の説明やお祝いなど)
- 16:00～ 商談や営業などの販売活動
- 17:30～ 日報まとめ
- 17:50 退社



勤務時間の大半は車で営業活動を行います



小さい部品は営業が至急納品します

◇次回は「ヤマテック株式会社」を紹介します

台風シーズンに備えましょう

気候変動の影響により、私たちは一年を通して局地的な大雨や台風といった風水害の危機にさらされています。頻発化・甚大化する自然災害に備え、命を守るためにどう行動すべきかを考え、日ごろからしっかりと準備しておくようにしましょう。

ハザードマップでリスクを確認し、早めの自主避難を

日本国内では、昨年も風水害により多くの尊い命が失われました。その多くは土砂災害と、大雨の際に外出して起きた事故によるものです。「避難」とは安全を確保することを意味し、自宅から動かない方が安全な場合もあります。「自身の身を守る避難」は各家庭によって状況は異なります。

「洪水・土砂災害ハザードマップ」と「内水ハザードマップ」で自宅周辺を確認し、避難が必要か、避難する場合はどこに行くべきか確認しましょう。自宅が危険な場合は、安全な場所に住む親戚の家など、災害時に滞在させてもらえるよう、事前に決めておくことも有効な手段です。

市からの避難情報を待つことなく、常に気象情報に関心を持ち、早めの自主避難を心がけましょう※ハザードマップは市ホームページ「防災・災害」で確認できます



さまざまなサービスで情報を収集しましょう

雨が降り出したら気象情報に注意してください。テレビやラジオ、インターネットで最新の情報を収集しましょう※市内の雨量は市ホームページ「いせはら雨量観測マップ」で確認できます

防災いせはらテレホンサービス ☎050-3204-1788

24時間以内に放送された防災無線の内容を確認することができます。

いせはら暮らし安心メール

右のQRコードから登録すると、防災・防犯などの緊急情報がメールで届きます。そのほか、市民生活に役立つ情報についても、その他行政情報としてお知らせしています。あらかじめ登録しておくようにしましょう。



空メールを送信

市LINE公式アカウント

市からのさまざまなお知らせや災害に関する情報などをお知らせしています。LINEアプリ内で「伊勢原市」を検索するか、右のQRコードから「友だち登録」をしてください。



友だち登録

家庭で備蓄をしましょう

風水害に限らず、大地震や新型コロナウイルスによる自宅療養などにも備え、約3日～10日間の非常用食料や日用品などを常に備蓄しておくようにしましょう。

危機管理課 ☎94-4865